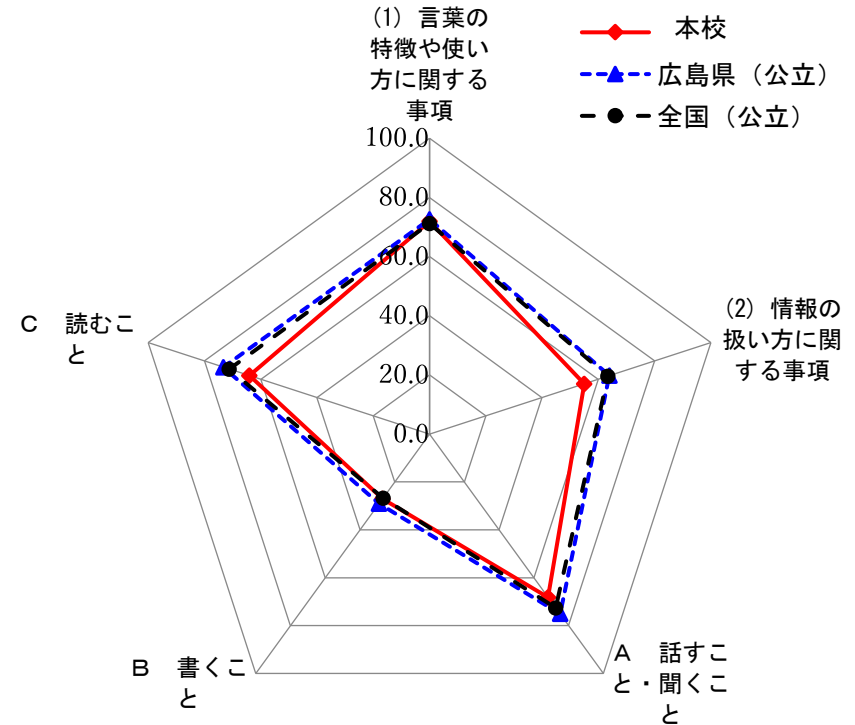


令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について【国語】

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞

本 校	64.0%
広島県	69.0%
全 国	67.2%



重点課題

- ・「原因と結果など情報と情報との関係について理解する」こと（正答率 52.3%，全国平均－12.4）、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」こと（正答率 43.2%，全国平均－13.0）が適切にできていない。
- ・記述式問題における無回答率が高い。（12.6%）

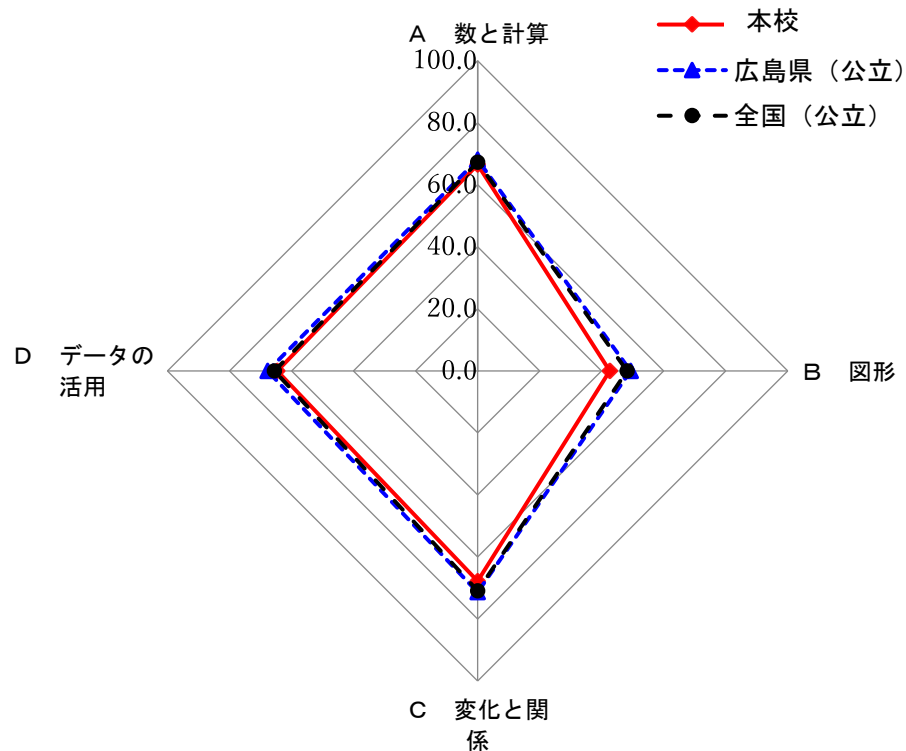
重点課題に対する指導方法等の改善

- ・授業において互いに伝え合う場面を意図的に設定し、表現するために自分の考えをまとめる指導をする。
- ・自分の考えを表現する際に、その理由や根拠を明確にさせることを意識して指導する。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について【算数】

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞

本 校	60.0%
広島県	64.0%
全 国	62.5%



重点課題

- ・「正三角形の意味や性質」についての理解に課題がある。(正答率 15.3%, 全国平均9.6)
- ・「高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し, その理由を言葉や数を用いて記述する」ことに課題がある。(正答率 11.7%, 全国平均9.1)
- ・記述式問題の無回答率が高い。(10.8%)

重点課題に対する指導方法等の改善

- ・「図形」の学習では, 定義や算数用語をきちんと押さえる。授業中の発言や板書などでも算数用語を意識する。
- ・考えの説明や授業のふりかえりなどで表現する活動を積極的に取り入れる。このとき, 理由や根拠を明確にさせることを意識する。